

(資料1)

四国森林管理局管内の木材価格等の推移
(最近の動向)

令和6年9月24日
四国森林管理局

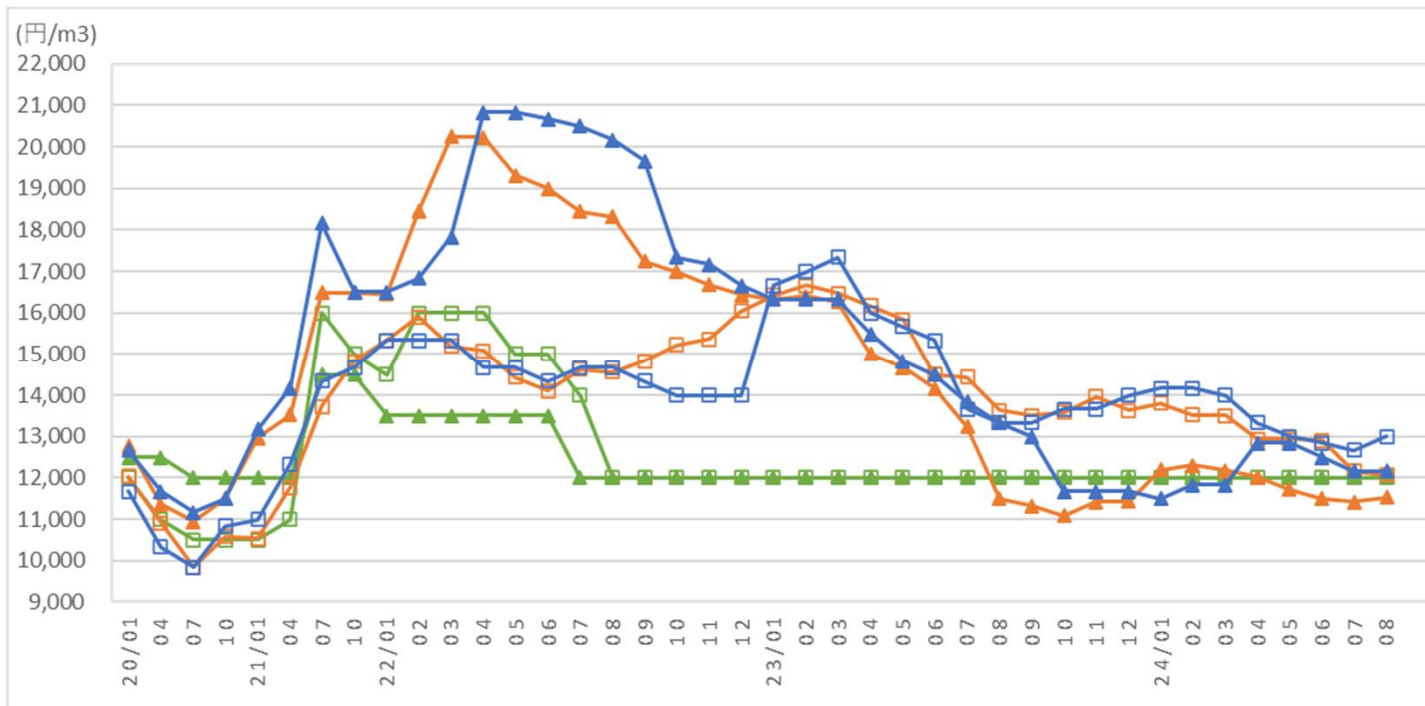
目次

I	管内における原木市場・共販所の状況	
1	丸太価格の推移	1
2	丸太取扱量の推移	5
II	管内における製材等の状況	
1	製材用素材の入荷量及び在庫量の推移	7
2	製材品の出荷量及び在庫量の推移	8
3	製材品価格の推移	9
III	全国の丸太価格の動向	10
IV	住宅着工戸数	
1	四国における木造住宅着工戸数の推移	12
2	全国の住宅着工戸数の推移	13

管内における原木市場・共販所の状況

1-(1) 丸太価格の推移 (スギ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 愛媛県、高知県では、令和5年4月以降3m材・4m材ともに下落が続いた。秋口には4m材に下げ止まり感がみられたが、3m材は更に下落した。令和6年に入って3mも底値を脱した感があったが、3m材・4m材ともに小幅な下落。直近では横這い傾向にある。
- 徳島県は、令和4年7月以降引き合いが弱く、横這いで推移している。
- 令和6年8月のスギ丸太価格は、前年同月比89%から100%で推移。



○ 8月のスギ丸太価格

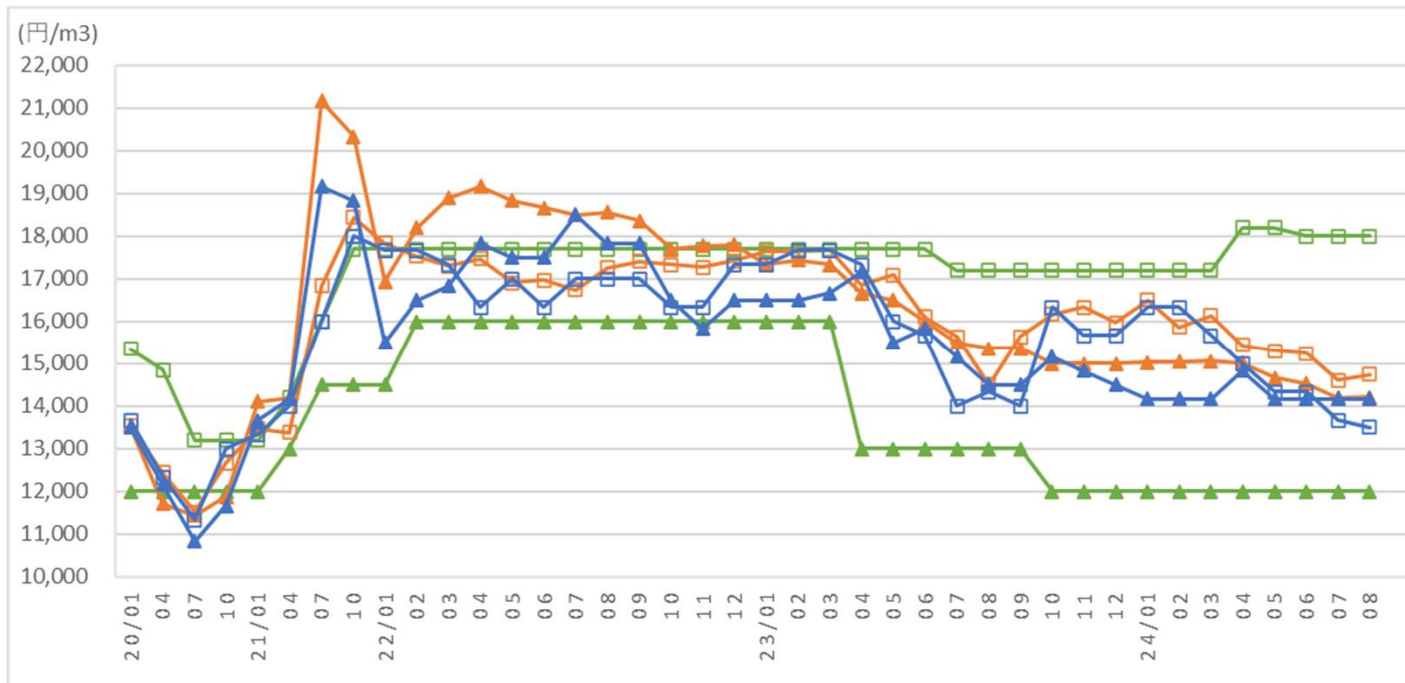
(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
徳島県	▲ 3m材	12,000	12,000	100%
	□ 4m材	12,000	12,000	100%
愛媛県	▲ 3m材	11,523	11,500	100%
	□ 4m材	12,067	13,630	89%
高知県	▲ 3m材	12,167	13,333	91%
	□ 4m材	13,000	13,333	98%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

1-(2)丸太価格の推移 (スギ、径18cm~22cm 長3m材・4m材)

- 令和5年は、4月頃から引き合いが弱まり軟調相場となったものの、4m材は秋口から概ね安定。3m材は不安定な相場が続いた。
- 令和6年に入っても、3m材・4m材ともに小幅な値下げ傾向が続いたが、直近では横ばい傾向にある。
- 令和6年8月のスギ丸太価格は、前年同月比92%から105%で推移。



○ 8月のスギ丸太価格

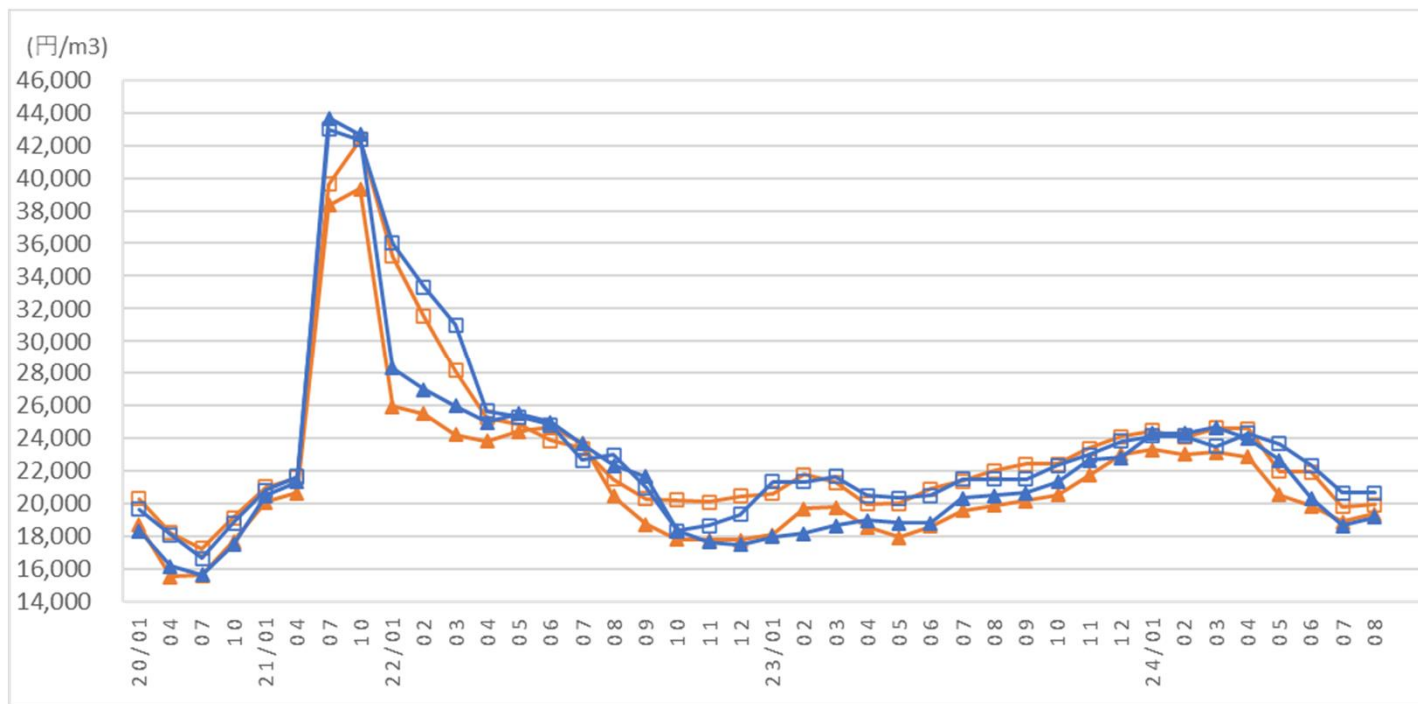
(円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
徳島県	▲ 3m材	12,000	13,000	92%
	□ 4m材	18,000	17,200	105%
愛媛県	▲ 3m材	14,203	15,367	92%
	□ 4m材	14,733	14,500	102%
高知県	▲ 3m材	14,167	14,500	98%
	□ 4m材	13,500	14,333	94%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

1-(3)丸太価格の推移 (ヒノキ、径14cm~16cm 長3m材・4m材)

- 令和5年は小幅ながら、やや上げ基調の相場となった。
- 令和6年に入っても、概ね安定していたが4月頃からは、3m材・4m材ともに下落基調がみられた。直近では横ばい傾向にある。
- 令和6年8月のヒノキ丸太価格は、前年同月比90%から97%で推移。



○ 8月のヒノキ丸太価格

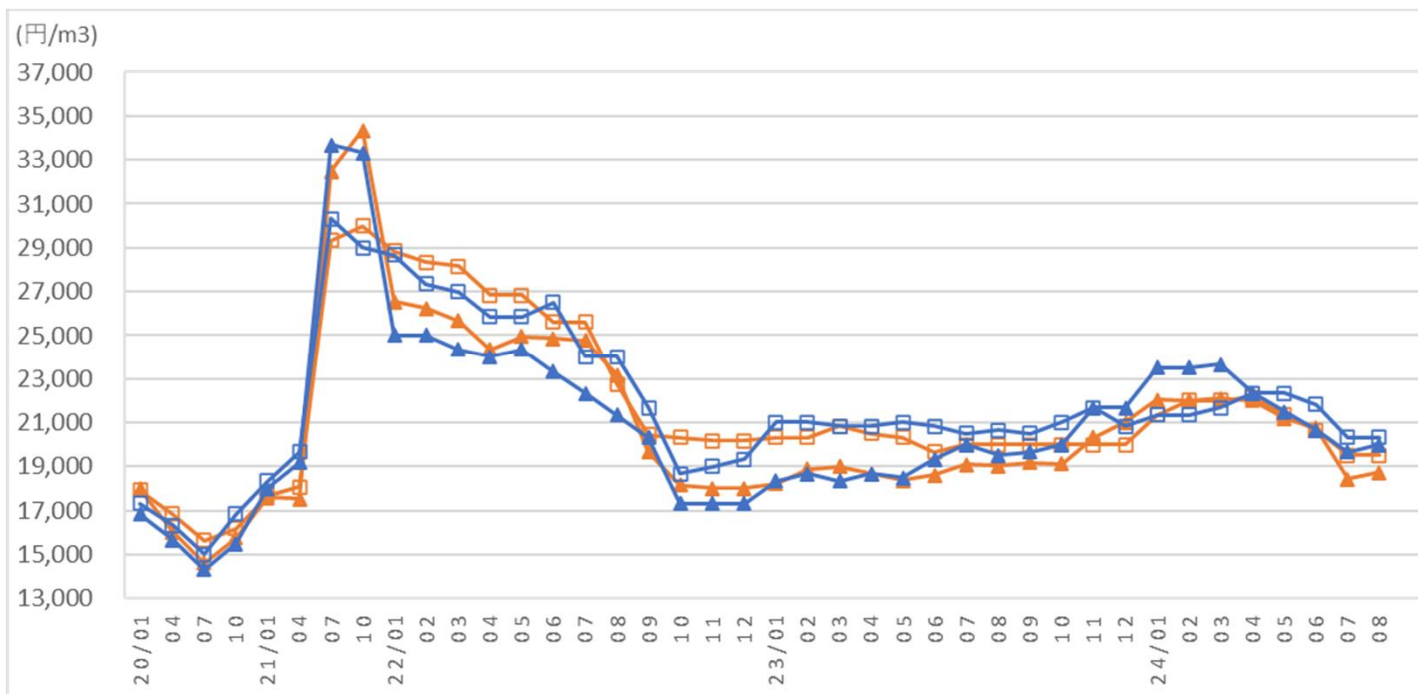
(円/m³)

県	長級	当月	前年 同月	前年 同月比
愛媛県	▲ 3m材	19,392	19,892	97%
	□ 4m材	19,933	22,033	90%
高知県	▲ 3m材	19,167	20,500	93%
	□ 4m材	20,667	21,500	96%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格
資料：四国森林管理局調べ

1-(4)丸太価格の推移 (ヒノキ、径18cm~22cm 長3m材・4m材)

- 令和5年は概ね安定した相場が続き、10月以降は品薄感からやや上げ基調の相場となった。
- 令和6年に入っても概ね安定した状態が続いていたが4月頃からは、3m材・4m材ともに下落傾向に転じた。直近では横ばい傾向にある。
- 令和6年8月のヒノキ丸太価格は、前年同月比98%から103%で推移。



○ 8月のヒノキ丸太価格

(円/m³)

県	長級	当月	前年同月	前年同月比
愛媛県	▲ 3m材	18,733	19,040	98%
	□ 4m材	19,500	20,000	98%
高知県	▲ 3m材	20,000	19,500	103%
	□ 4m材	20,333	20,667	98%

注：主要な原木市場、共販所の平均価格

資料：四国森林管理局調べ

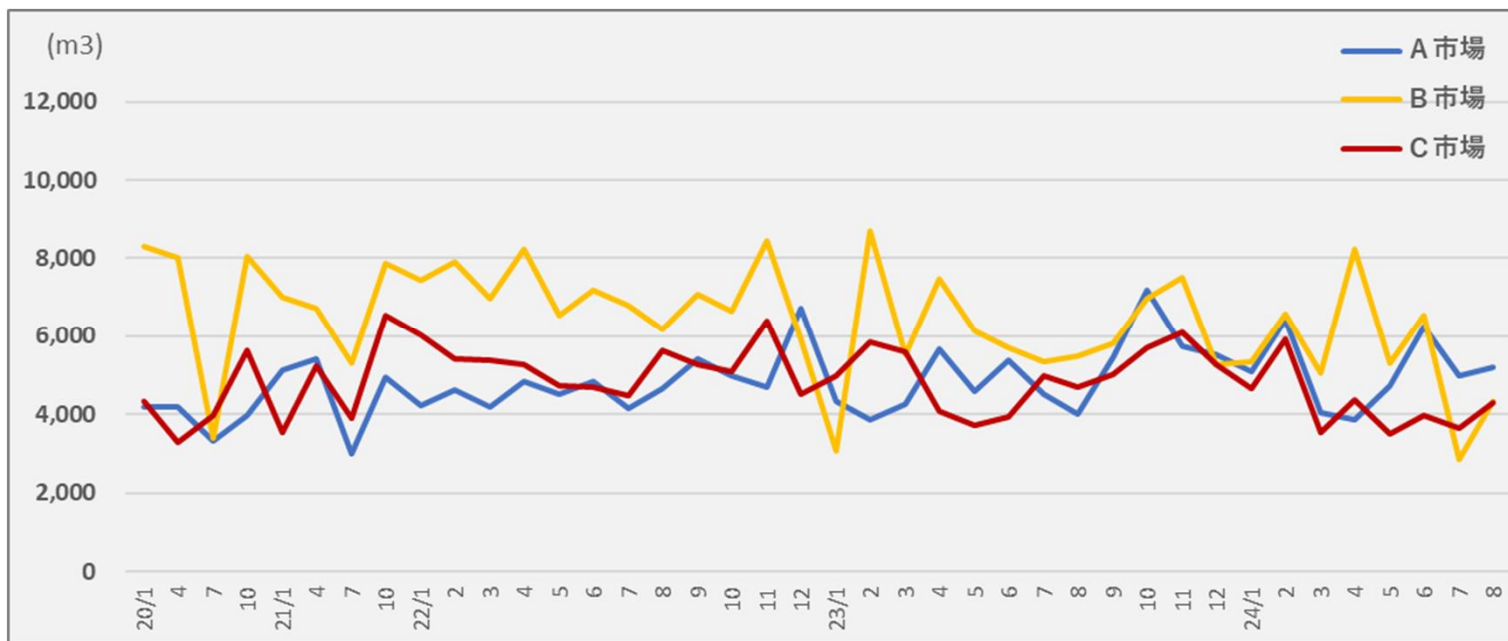
管内における原木市場・共販所の状況

2-(1) 丸太取扱量の推移（愛媛県）

- 愛媛県内の主な原木市場・共販所における6月から8月の丸太取扱量は、市場によりバラツキはあるものの、概ね横這い傾向にある。
- 直近3か月（6～8月）を、前年同時期と比べると95%で推移。

直近3か月（6～8月）の入荷量

	2024年	2023年	前年同期比
A市場	16,445	13,914	118%
B市場	13,757	16,568	83%
C市場	11,914	13,647	87%
計	42,116	44,129	95%



資料：四国森林管理局調べ

（市場関係者のコメント）

・スギ・ヒノキ共に出材量は増加傾向に転じてほぼ横這い。

・スギ・ヒノキ共に原木不足から価格はほぼ横ばい。銘柄によっては引き合いが強い。

・スギ・ヒノキ共に出材量に戻るまでは価格は維持されると思われる。

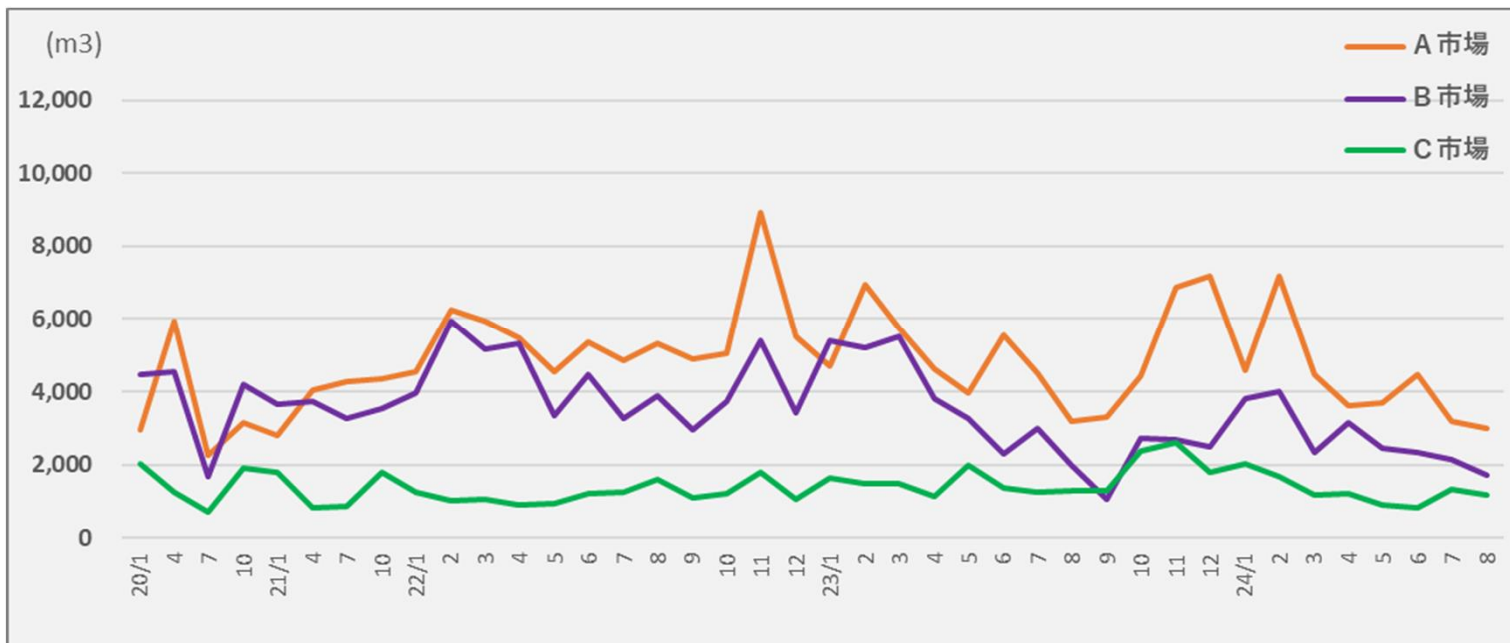
・物価高騰による住宅着工戸数が減少する中、市況見通しは厳しい状況が予想される。

2-(2) 丸太取扱量の推移（高知県）

- 高知県内の主な原木市場・共販所における6月～8月の丸太取扱量は、減少傾向にある。
- 直近3か月（6～8月）を、前年同時期と比べると82%で推移。

直近3か月（6～8月）の入荷量

	2024年	2023年	前年同期比
A市場	10,650	13,250	80%
B市場	6,200	7,300	85%
C市場	3,305	3,889	85%
計	20,155	24,439	82%



（市場関係者のコメント）

・直近の入荷量は減少傾向。今後は徐々に増加する見込み。

・スギ・ヒノキ共に製品動向が悪く、柱・中目を中心に値下がり。製品の先行き不透明感が強い。

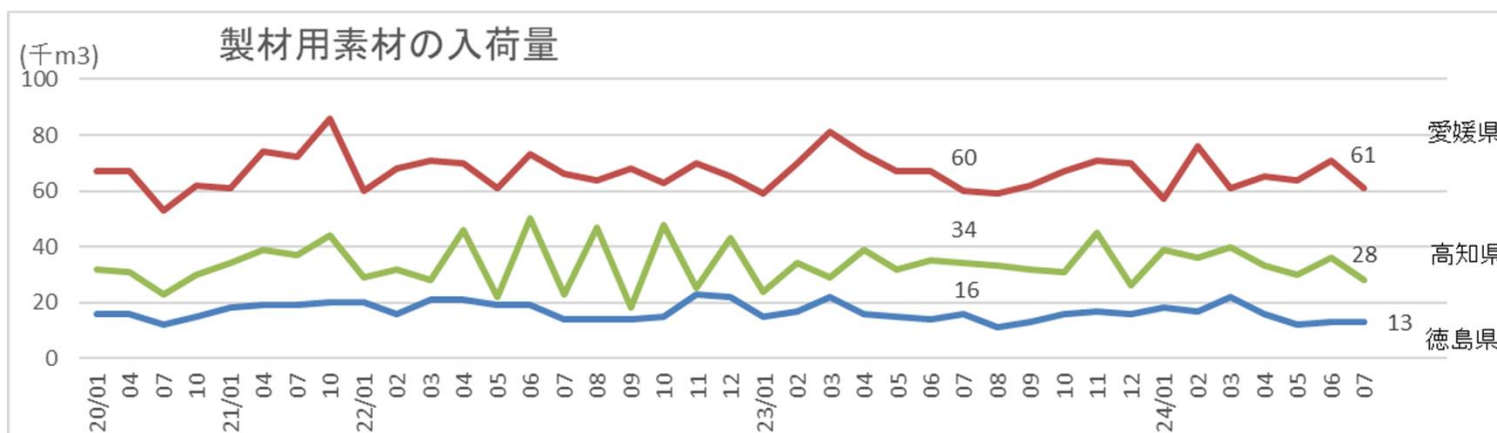
・材の引き取りは良好。

・スギは弱保合。ヒノキは品薄傾向のため価格上昇の可能性あり。

II 管内における製材等の状況

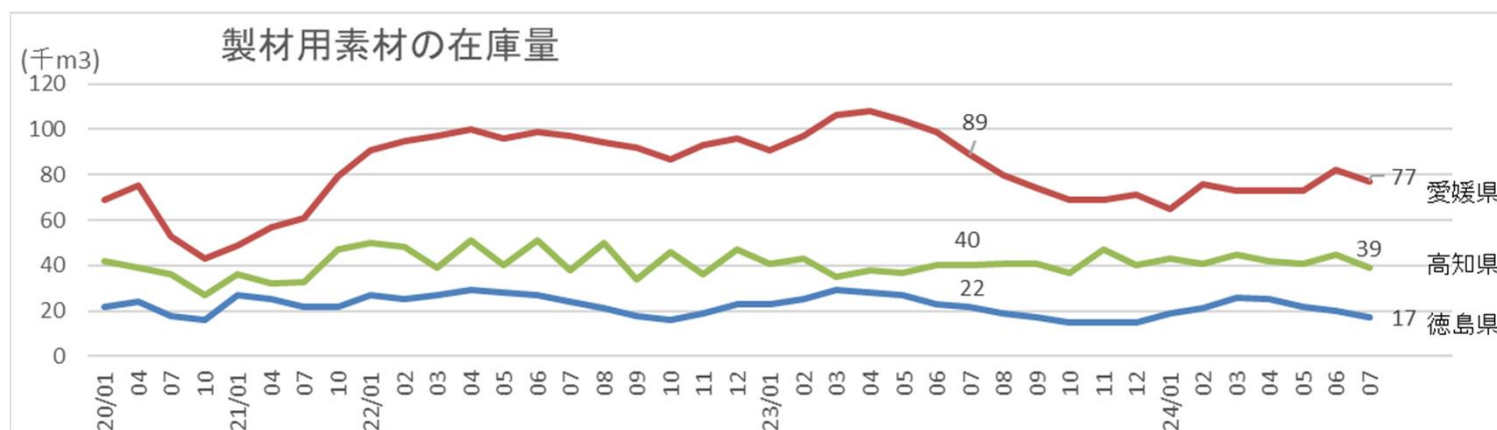
1. 製材用素材の入荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和6年）

- 四国の5～7月の製材用素材の入荷量は、328千m³（前年比96%）、愛媛県は概ね横這い。徳島県、高知県は減少となった。
- 同期間の製材用素材の月平均在庫量は、46千m³（前年比87%）、徳島県、愛媛県は減少。高知県は増加となった。



(千m³)

	2024年	2023年	前年比
徳島	38	45	84%
愛媛	196	194	101%
高知	94	101	93%
四国計	328	340	96%

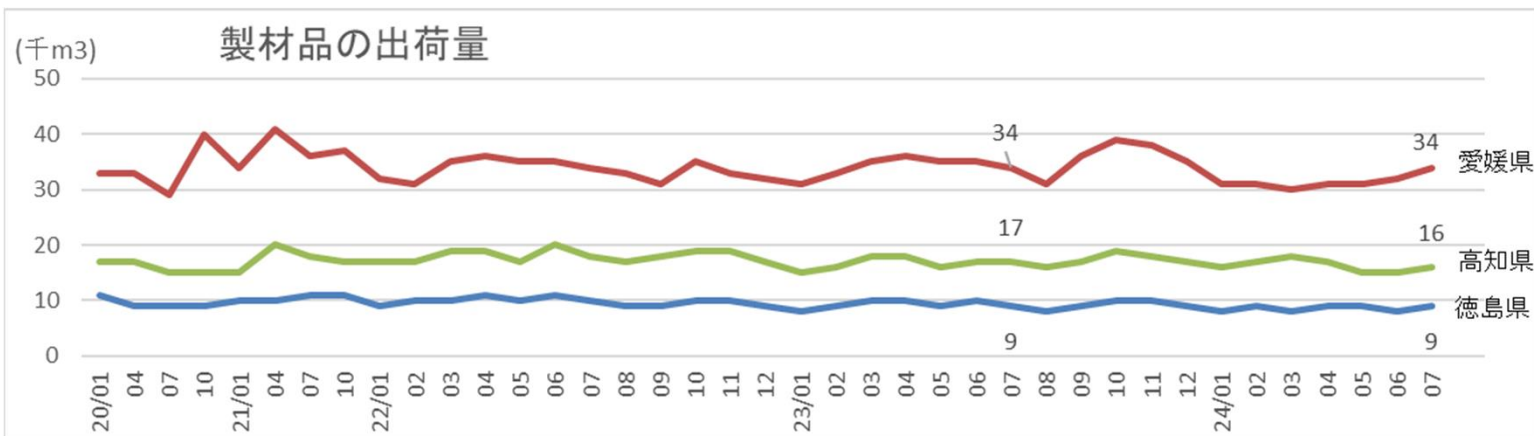


(千m³)

	2024年	2023年	前年比
徳島	20	24	83%
愛媛	77	97	79%
高知	42	39	108%
四国計	46	53	87%

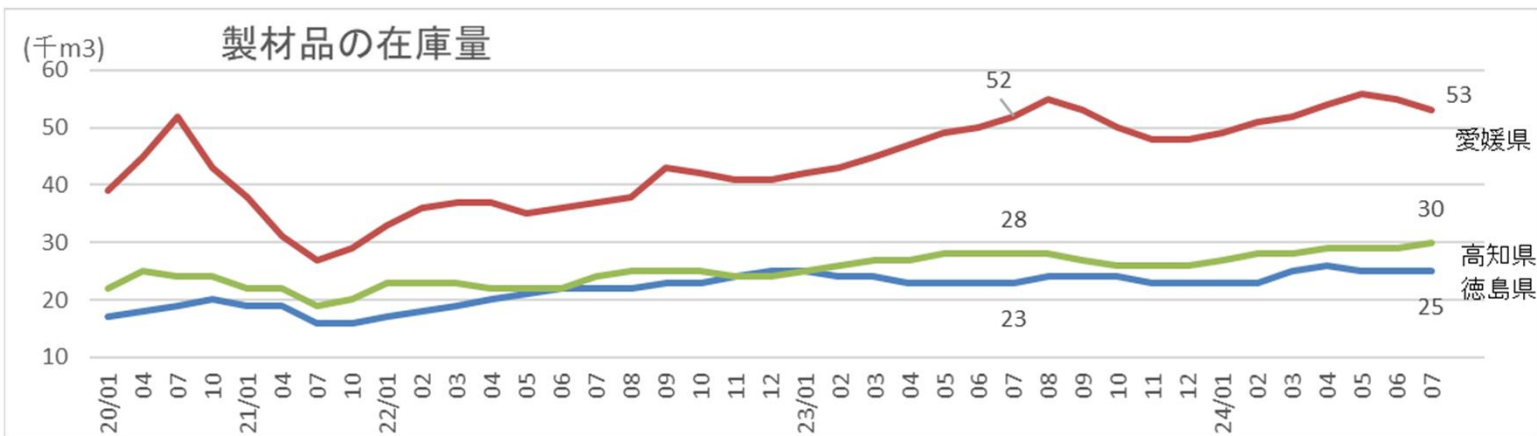
2. 製材品の出荷量及び在庫量の推移（令和2年～令和6年）

- 四国の5～7月の製材品出荷量は、169千m³（前年比93%）、徳島県、愛媛県、高知県3県ともに減少となった。
- 同期間の製材品の月平均在庫量は、36千m³（前年比106%）、徳島県、愛媛県、高知県3県ともに増加となった。
- 令和6年に入ってから、3県ともに増加傾向にある。



（千m³）

5～7月製材品出荷量			
	2024年	2023年	前年比
徳島	26	28	93%
愛媛	97	104	93%
高知	46	50	92%
四国計	169	182	93%

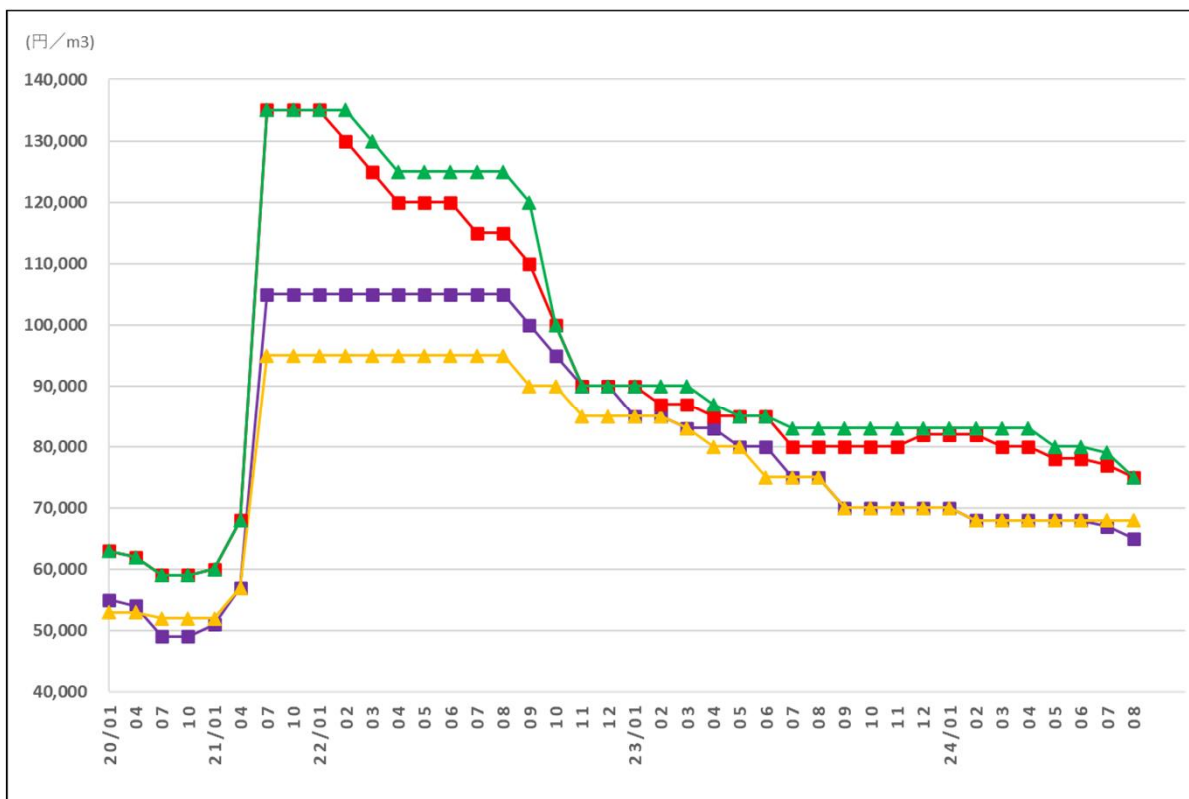


（千m³）

5～7月製材品在庫量（月平均）			
	2024年	2023年	前年比
徳島	25	23	109%
愛媛	55	50	110%
高知	29	28	104%
四国計	36	34	106%

3. 製材品価格の推移

- 令和5年は買い方の動きは悪く、価格は総じてジリ安傾向が続いた。
- 令和6年に入ってもスギ・ヒノキの製材品すべての品目において、前年同月比87%から94%で推移。



国産材製品の相場（愛媛県）令和6年8月

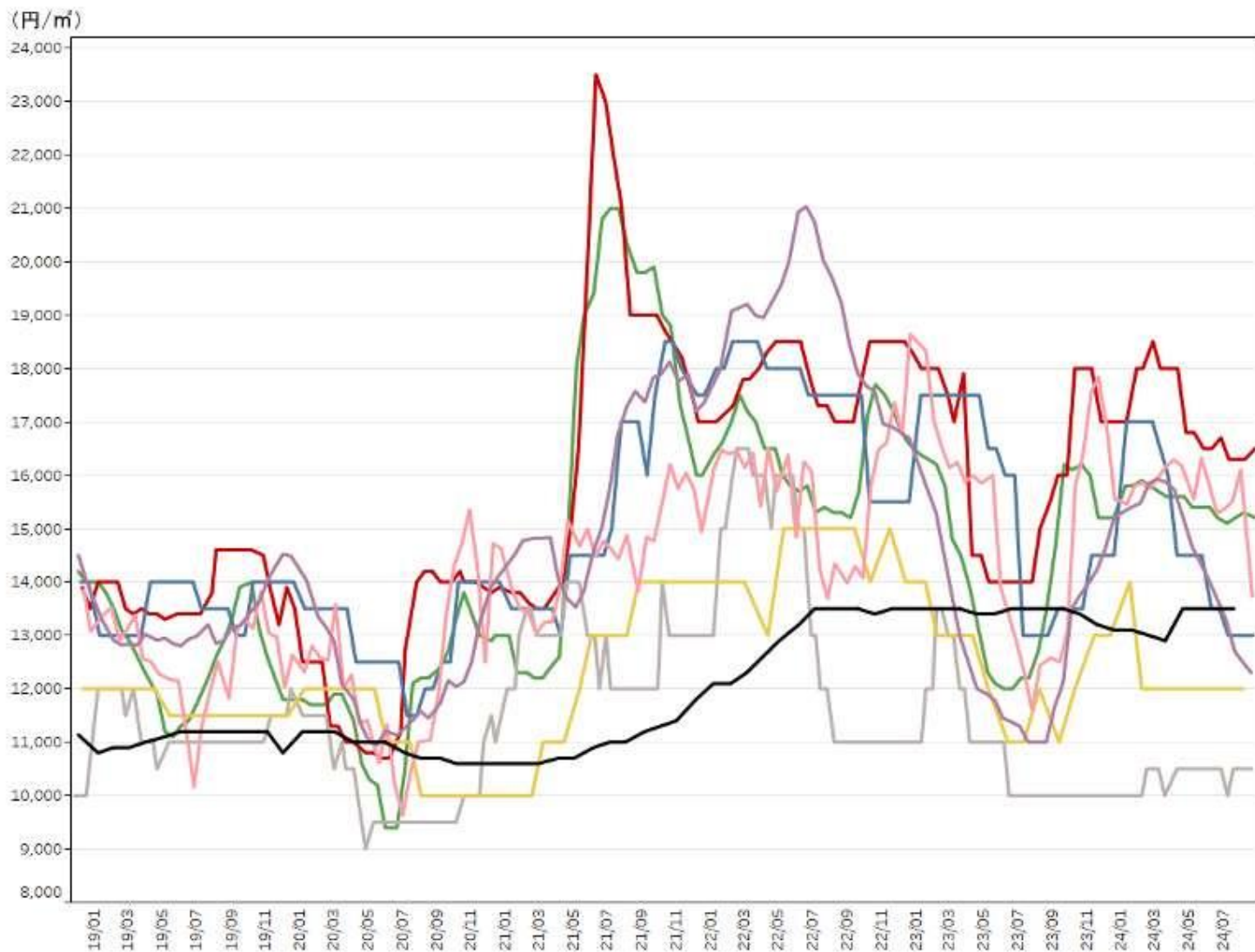
(円/m³)

品目	当月	前年同月	前年同月比
■ スギ柱 3m×105mm角KD特等	65,000	75,000	87%
▲ スギ間柱 3m×105×30mm角KD特等	68,000	75,000	91%
■ ヒノキ柱 3m×105mm角KD特等	75,000	80,000	94%
▲ ヒノキ土台 4m×105mm角KD特等	75,000	83,000	90%

Ⅲ 全国の丸太価格の動向

ア スギ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,500円～16,500円/m³となっている。



(単位：円/m³)

都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	13,500	100%
秋田県	12,300	11,000	112%
栃木県	13,730	12,580	109%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	10,500	10,000	105%
高知県	13,000	13,000	100%
熊本県	16,500	15,500	106%
宮崎県	15,200	13,500	113%

※北海道については7月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については8月の値を使用。

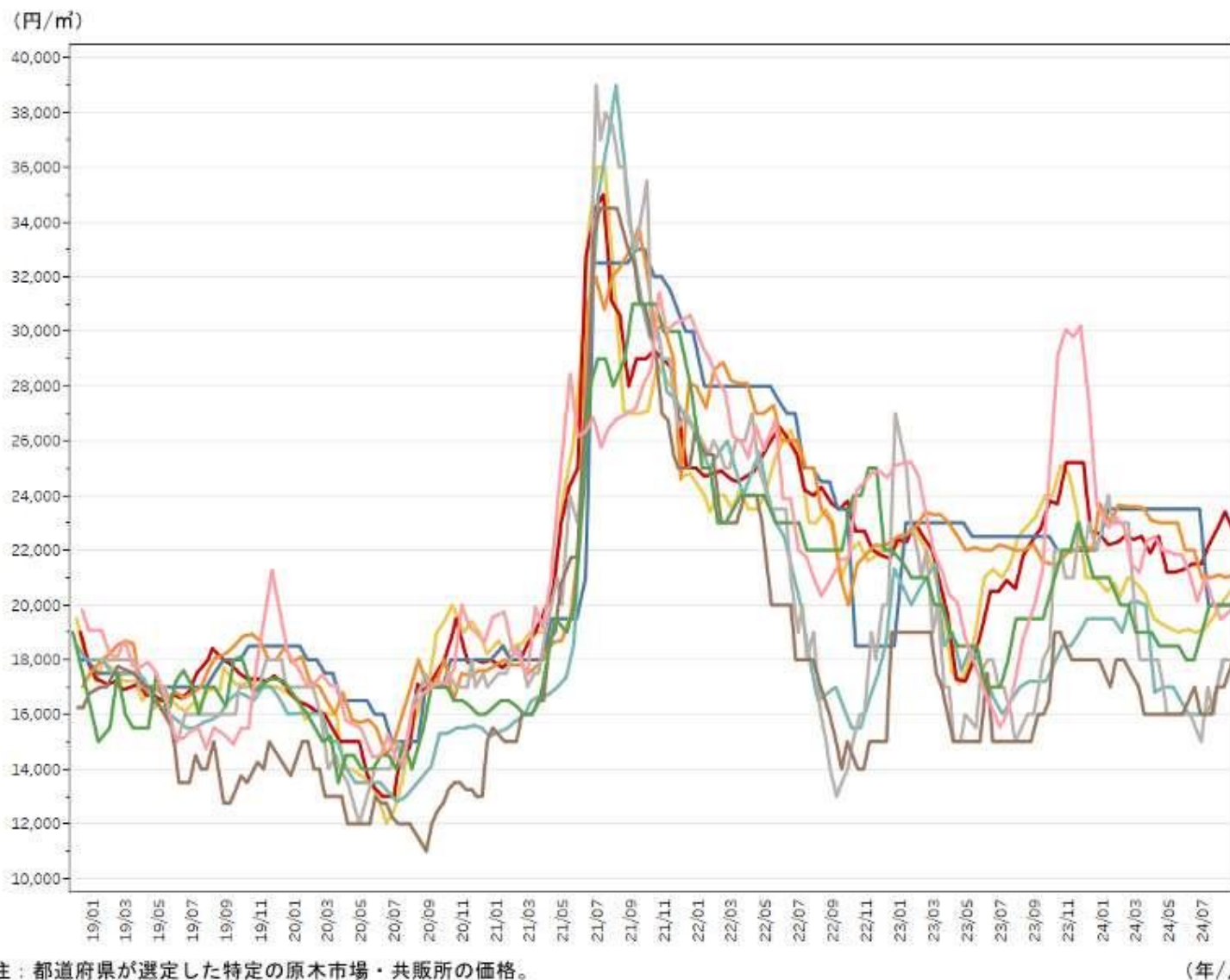
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円~22,600円/m³となっている。



注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(単位：円/m³)

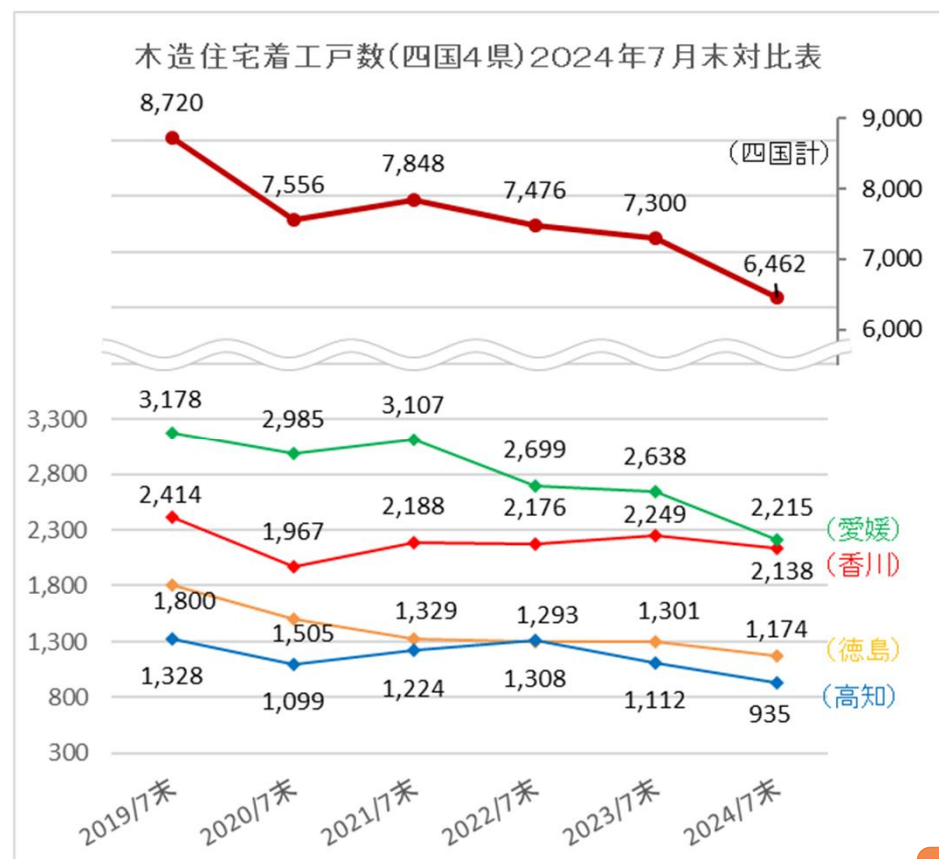
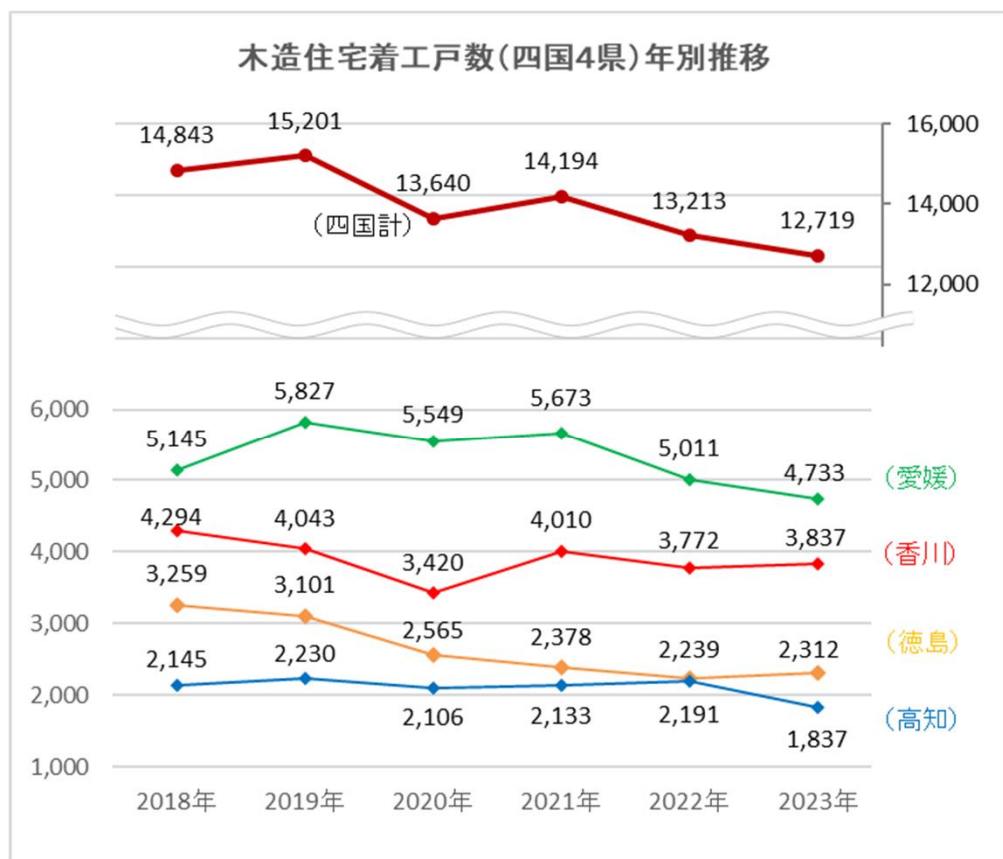
都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
栃木県	19,850	19,950	99%
静岡県	20,000	19,500	103%
兵庫県	18,000	15,000	120%
岡山県	18,000	16,000	113%
広島県	18,000	17,200	105%
愛媛県	21,120	22,200	95%
高知県	20,000	22,500	89%
熊本県	22,600	22,400	101%
大分県	20,500	22,900	90%

※各県8月の値を使用。

IV 住宅着工戸数

1 四国における木造住宅着工戸数の推移

- 四国における2023年1月～12月の木造住宅着工戸数は、12,719戸（前年比96.3%）となり、昨年に続き過去10年間で最も低い水準となった。
- 直近の県別をみると、徳島県（前年比90.2%）、香川県（前年比95.1%）、愛媛県（前年比84.0%）、高知県（前年比84.1%）と4県すべてで前年を下回った。

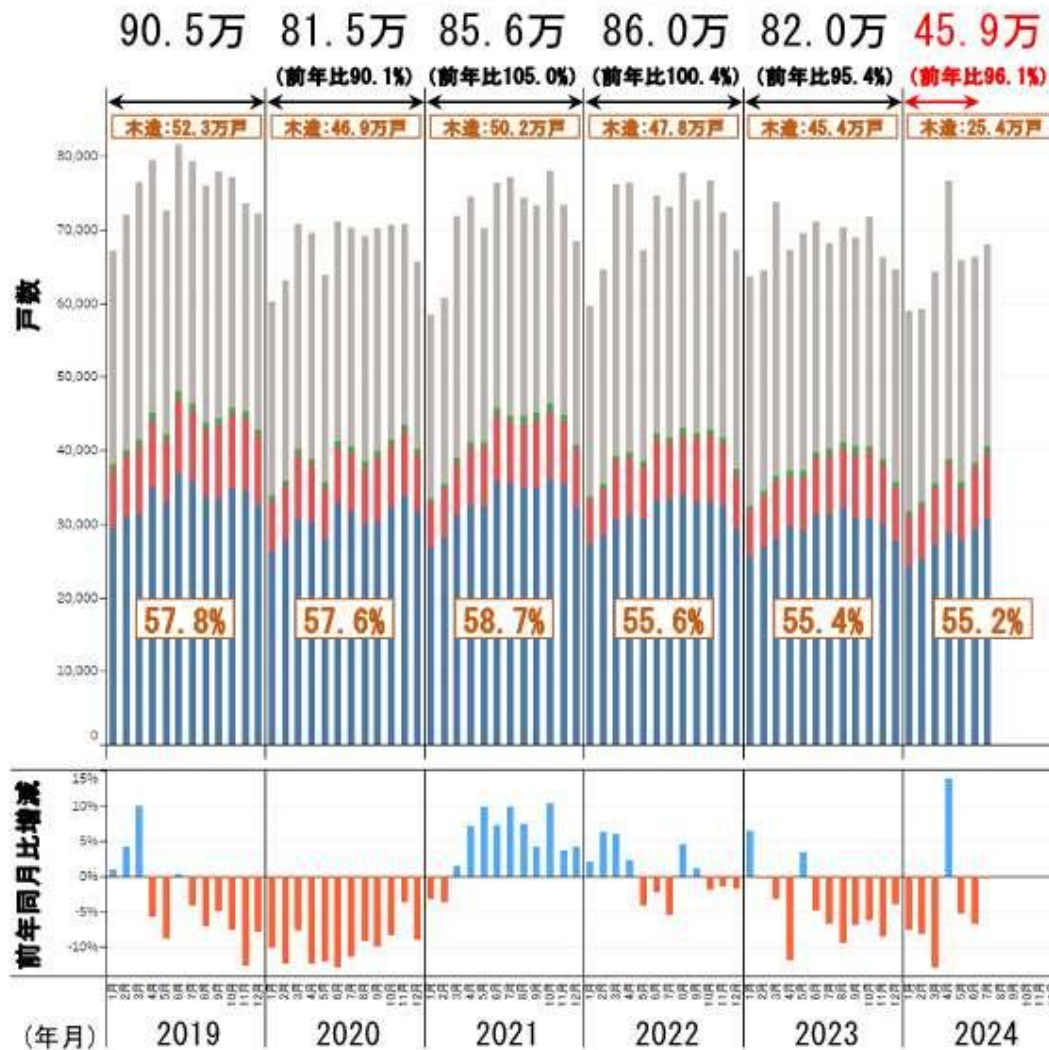


資料：国土交通省「住宅着工統計」

2 全国の住宅着工戸数の推移 (2019年1月～2024年7月)

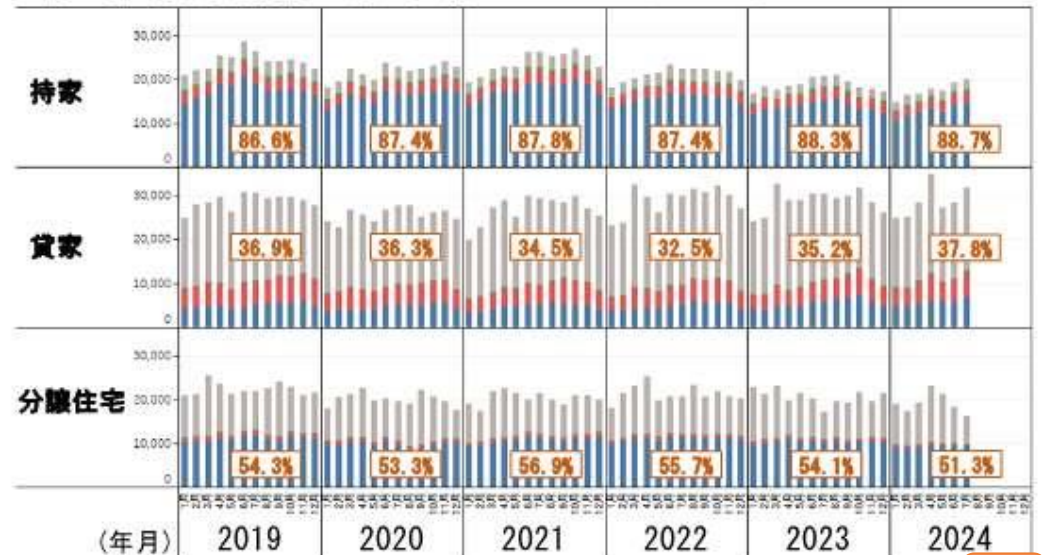
- 2023年の新設住宅着工戸数は、**82.0万戸** (前年比95.4%)、このうち木造住宅は**45.4万戸** (同95.1%) となり、2022年の水準を下回った。
- 2024年1～7月の新設住宅着工戸数は、**45.9万戸** (前年同期比96.1%)、このうち木造住宅は**25.4万戸** (同98.3%)。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2024年 1～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	459,040	477,700	96.1%	491,583	93.4%
■非木造	205,536	219,926	93.5%	220,993	93.0%
木造	253,504	257,774	98.3%	270,590	93.7%
■木造プレハブ	5,887	5,941	99.1%	5,464	107.7%
■2×4	54,495	49,883	109.2%	50,604	107.7%
■在来軸組	193,122	201,950	95.6%	214,522	90.0%
□木造率	55.2%	54.0%		55.0%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



「定常範囲を逸脱する動き」について

(資料2)

分析結果

(ア) 木材価格の前月比における逸脱の有無

(調査月 令和6年4月～令和6年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(イ) 木材価格の前月比における下落(上昇)の継続(5ヶ月以上)

(調査月 令和6年4月～令和6年7月)

【スギ中丸太】 ・ 7月時点で5ヶ月連続の上昇。

【ヒノキ中丸太】 ・ 7月現在、5ヶ月以上連続した動きはなし。

(ウ) 木材価格の前年度同月比における逸脱の有無

(調査月 令和6年4月～令和6年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(エ) 木材価格の2ヶ年平均価格比における逸脱の有無

(調査月 令和6年4月～令和6年7月)

【スギ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【ヒノキ中丸太】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

(オ) 製材用素材の在庫率における逸脱の有無

(調査月 令和6年4月～令和6年7月)

【徳島県・愛媛県】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

【愛媛県・高知県】 ・ 定常範囲を逸脱した動きはなし。

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領（平成25年7月30日付け25四資第19号）の2の（ア）から（オ）に係る確認

〔判断基準・指標〕

- 「定常範囲を逸脱する動き」については、国有林材の供給調整機能検討事業調査報告書（平成24年9月28日(財)日本木材総合情報センター）に示された統計的な判断基準、指標を参考とした
- 使用データ：「国内企業物価指数」（日本銀行統計）
「木材価格」「製材統計」（農林水産省統計）

○ 丸太価格、在庫率の変動

1 スギ中丸太価格（徳島県・愛媛県）

	逸脱上限値 5.82%				逸脱下限値 -5.96%				逸脱上限値 21.89%				逸脱下限値 -22.21%				逸脱上限値 17.72%				逸脱下限値 -18.54%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月				
スギ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	0.67%	0.49%	1.55%	0.30%	2	3	4	5	-13.26%	-11.90%	-12.19%	-11.99%	-15.06%	-14.34%	-13.15%	-12.03%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

2 ヒノキ中丸太価格（愛媛県・高知県）

	逸脱上限値 9.08%				逸脱下限値 -9.27%				逸脱上限値 40.03%				逸脱下限値 -41.55%				逸脱上限値 29.62%				逸脱下限値 -33.64%			
	前月比 (%)				連続上昇・連続下落 (月)				前年同月比 (%)				2ヶ年平均価格比 (%)											
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月				
ヒノキ中丸太 (径級14~22cm) (長級3.65~4.00m)	-0.56%	-0.08%	-3.34%	-4.23%	-1	-2	-3	-4	14.48%	12.30%	7.23%	0.19%	3.79%	2.56%	-1.79%	-4.90%								

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 木材価格データは農林水産省の「木材価格統計」を使用し、算出したものである。

3 製材用素材の在庫量

	素材の在庫率				逸脱上限値		逸脱下限値	
	4月	5月	6月	7月				
スギ製材用素材(徳島・愛媛)	1.20	1.18	1.29	1.17	1.88		0.81	
ヒノキ製材用素材(愛媛・高知)	1.13	1.14	1.29	1.17	1.58		0.89	

注1) 数値の赤字は定常範囲を逸脱しているものである。

注2) 在庫率のデータは農林水産省の「製材統計」を使用し、算出したものである。

(資料4)

木材需給動向を踏まえた国有林材の供給調整について

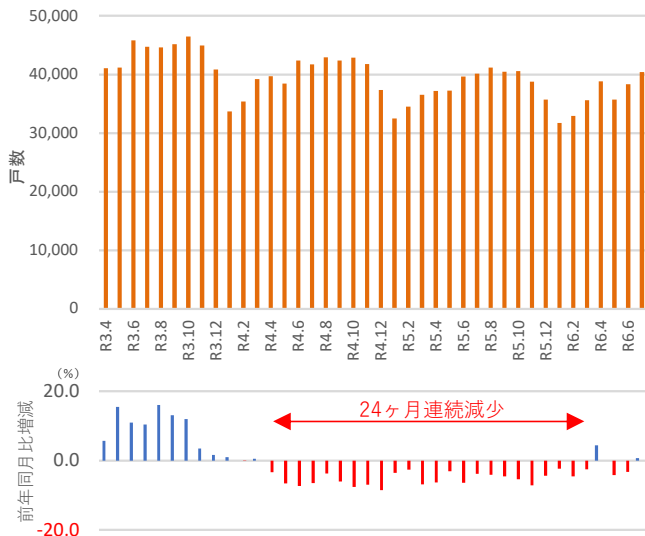
令和6年9月24日

林野庁

直近の木材需給動向

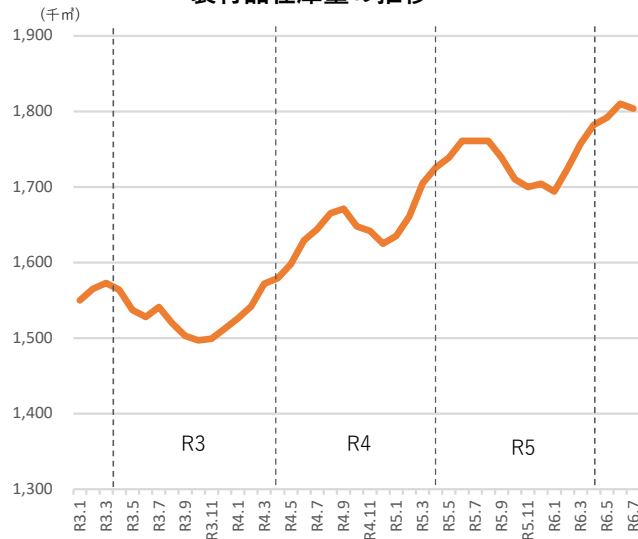
- R6.7の着工統計によると、新設住宅着工戸数の減少傾向が継続しており、前年同期比は3月まで10ヵ月連続減少であった後に、4月に一時増加したが、その後、3か月連続の減少（7月▲0.2%）
- 木造住宅では、3月まで24ヵ月連続減少であった後、4月に一時増加したが、5月・6月で再び減少、7月で40.4千戸※となり3ヶ月ぶりに増加も+0.7%と微増にとどまる。
 ※内訳：在来軸組住宅が30.7千戸（▲2.4%）、2×4住宅が8.7千戸（+11.3%）、木質プレハブが1.1千戸（+17.9%）
- 合板工場での原木の受入制限が長引いているほか、製材品についても在庫量は高止まりの状況にある。
- 円安や海運コストの上昇を受け、ホワイトウッド製品（集成管柱）の価格は上昇。一方、スギ柱角の価格は弱含み後保合で推移しており、山元へのしわ寄せが更に強まることが懸念。
- 北米・欧州材在庫の指標となる東京港製材品在庫（別紙）は、入荷増に伴い在庫量が上昇。製品需要の更なる緩和が懸念。
- 木材需給の先行き不透明感が増す中、国有林材の供給に当たっては、地域の需給状況を注視しつつ、引き続き必要に応じた柔軟な対応が求められる。

新設木造住宅着工戸数の推移



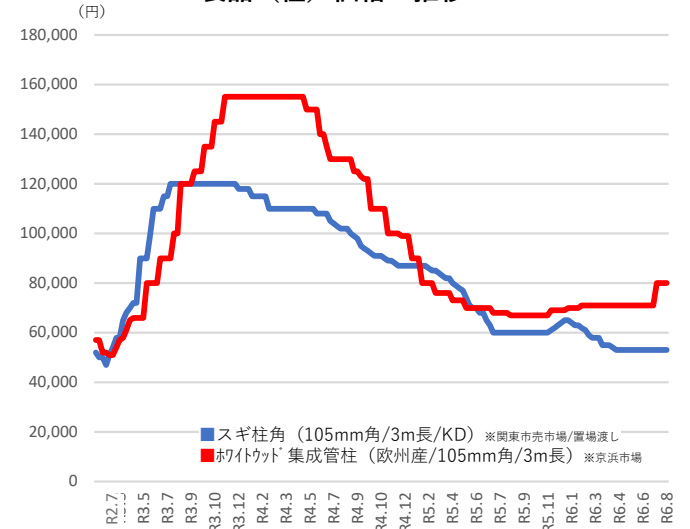
資料：国土交通省「住宅着工統計」

製材品在庫量の推移



資料：林野庁「木材統計調査」

製品（柱）価格の推移

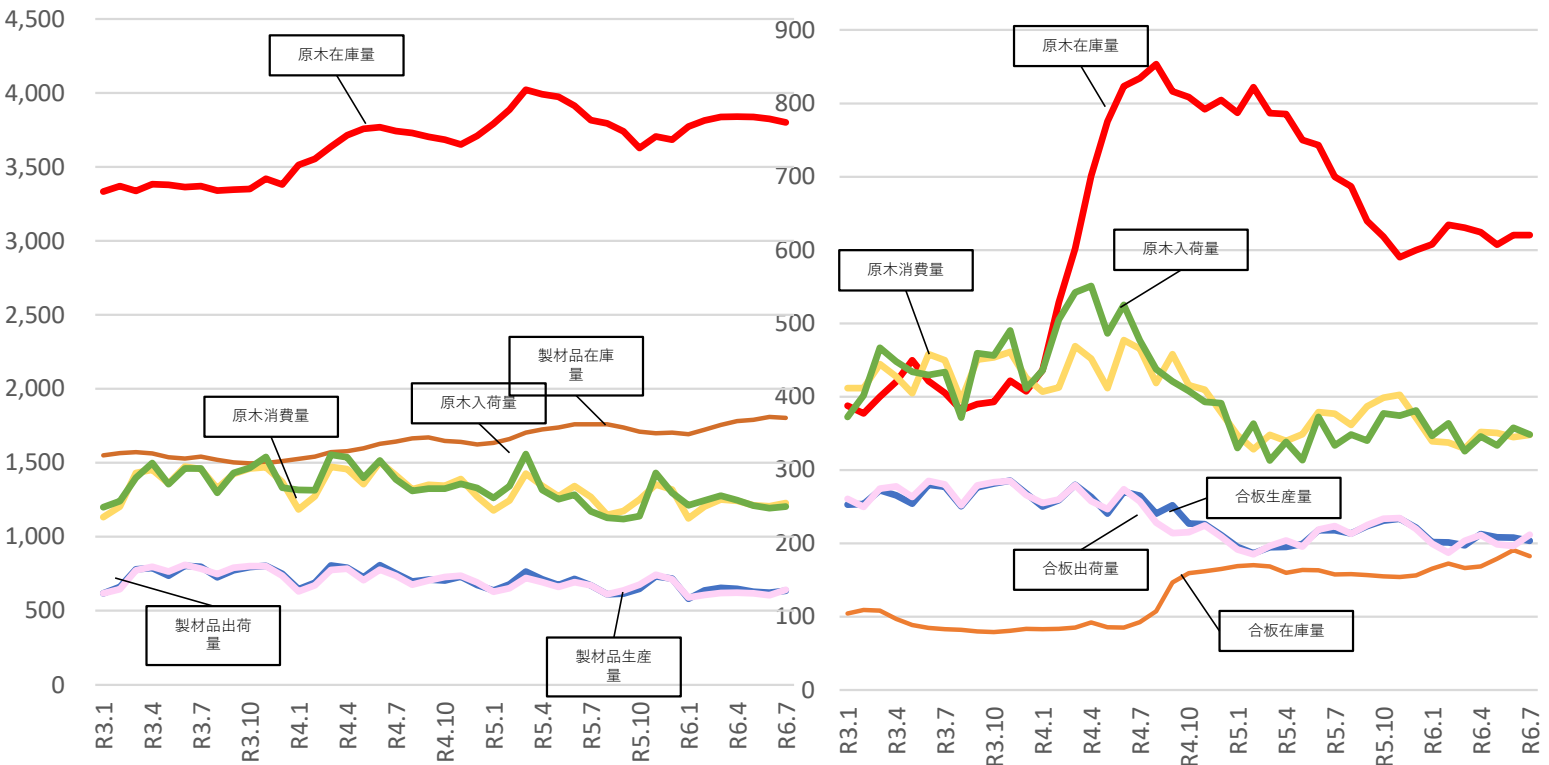


資料：木材建材ウイクリー、日刊木材新聞

原木在庫量・製材品在庫量・合板在庫量の推移

原木在庫量・製材品在庫量の推移

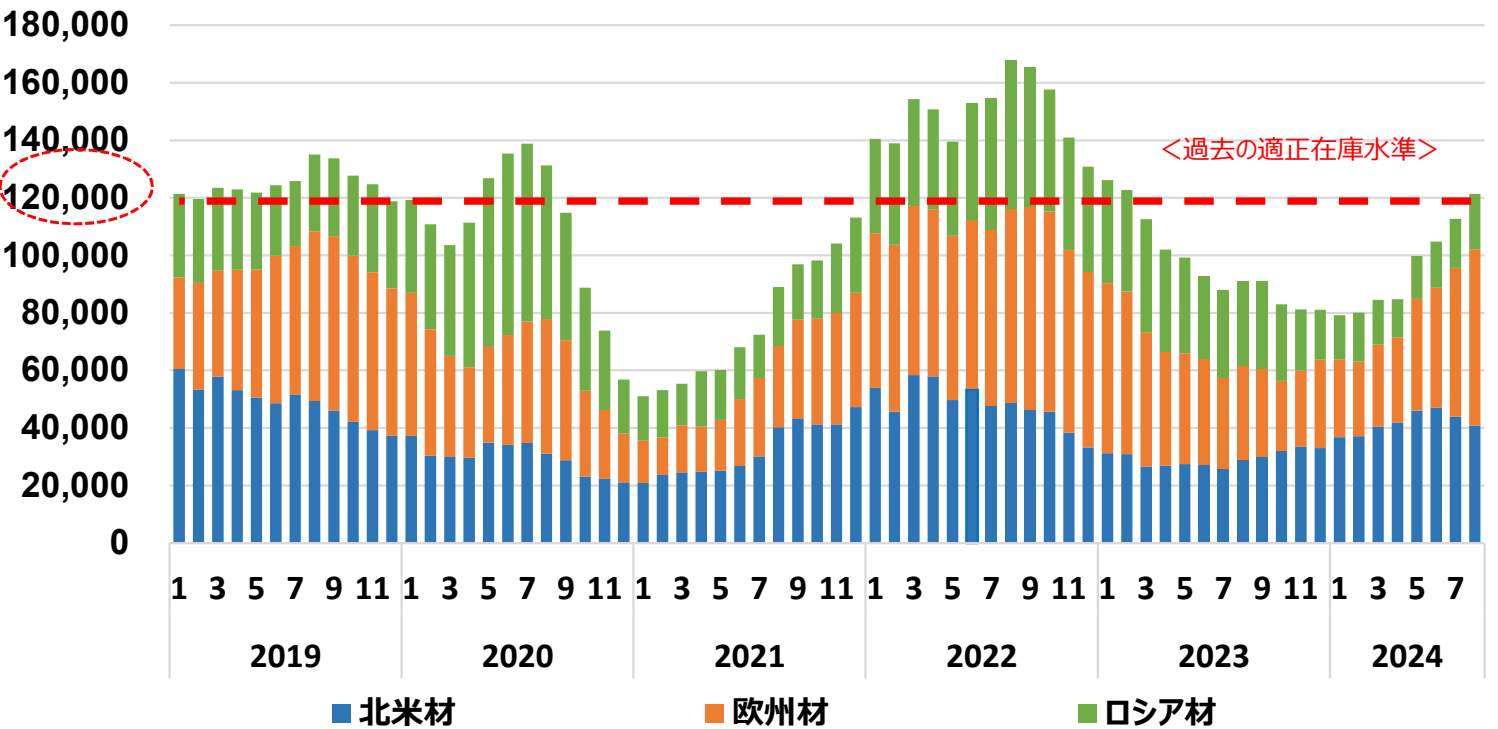
原木在庫量・合板在庫量の推移



「東京港製材品在庫」と木造着工戸数の推移

(着工戸数/月)

(在庫M3)



資料：農林水産省「製材統計」、農林水産省「合板統計」
 日本木材輸入協会作成（データの出典：東京港在庫「東京木材埠頭（株）」
 木造着工数「国土交通省（住宅着工統計）」